※令和４年度以降入学生用

学校番号	１２０１

令和５年度　芸術科（書道）

教科	芸術	科目	自己表現（書道編）	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	プリントを適宜配布						
副教材等	ペン習字の基礎　（教育図書）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

書道における表現および鑑賞の幅広い活動の中で、感性を高め、書の伝統や文化についての理解を深めて主体的に自己を表現する能力を高めていきましょう。

２　学習の到達目標

書道の幅広い活動を通して、書に関する見方・考え方をはたらかせ、生活や社会の中の文字や書、書の伝統と文化と幅広く関わる資質・能力を次の通り育成することを目指す。
（１）　書の表現方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に着けるようにする。
（２）　書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わいとらえたりすることができるようになる。
（３）　主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書をとおして心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	創造的な書表現をするために，書の効果的な表現の技能を身に付け表している。 文字や書の伝統と文化について幅広く理解し，その価値を考え，書のよさや美しさを創造的に味わっている。	書のよさや美しさを感じ取り、感性を働かせながら、自らの意図に基づいて構想し、表現を工夫している。	書の創造的活動の喜びを味わい、書の伝統と文化に関心をもって、主体的に表現や鑑賞の創造的活動に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
		・国語科書写と芸術科書道	a:書写と書道の類似点・相違点を再確認し、今後の学習に意欲的に取り組もうとしている。 b:姿勢や執筆法の基本を理解している。 c:書道の類似点・相違点について理解し、さまざまな書のよさを味わっている。	ワークシート	提出作品	レポート
		・楷書・行書 ・条幅作品制作 ・漢字一文字作品制作 ・相互鑑賞会	a:楷書・行書の美とその表現技法について関心を持ち、表現や鑑賞の活動に意欲的に取り組もうとしている。 b:各書体の基本的な用筆方法を理解し、表現を工夫している。 c:逆筆と順筆、筆の弾力を利用する用筆方法を身に付け表している。	ワークシート	提出作品	レポート
		かなの書 (単体・連綿・変体仮名)	a:墨色について関心を持ち、積極的に表現技法を高めようとしている。 b:変体仮名や連綿を使い、仮名のリズムや流動美を表現している。 c:仮名の単純化された筆使いを身に付け表現している。 d:墨色は黒一色ではないことを理解し、そのよさを味わっている。	ワークシート	提出作品	レポート
			a: b: c:			

※令和４年度以降入学生用

			a: b: c:			
			a: b: c:			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度